

2026年6月5日

各 位

会 社 名 クリヤマホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役CEO 小 貫 成 彦
(コード番号 3355 東証スタンダード)
問合せ先 執 行 役 員 元 木 雄 三
(TEL 06-6910-7013)

**クリヤマグループの次世代を見据えた新たな研究開発拠点
「クリヤマ R&D センター」を東広島市に竣工
ーグローバル R&D 拠点として本格稼働**

クリヤマホールディングス株式会社（以下、「当社」）は、広島県東広島市に建設を進めていた「クリヤマ R&D センター」を5月29日（金）に竣工したことをお知らせいたします。



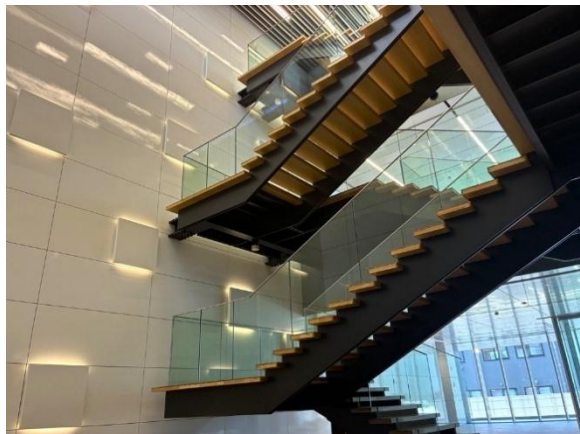
本センターは「グローバルベースで付加価値ある技術・製品・人財を生み出す研究・開発拠点」として、クリヤマグループの情報・技術・人財・知財を横断的に集約する研究開発プラットフォームを担います。知財の創出や管理、各種試験・検査機能の統合による実用化の加速ならびに次世代への技術継承とエンジニア育成を目的としています。

設計コンセプトは「connected by stairs（階段で繋ぐ人とアイデア）」です。各階にはお取引先様や地域の大学・研究機関の関係者の皆様ならびに当社グループの社員・研究者・技術者が交流し、協働やアイデアが生まれるような施設やスペースを配置しています。

各階をつなぐ階段は単なる動線ではなく、人とアイデアが交差する「接点」として位置づけています。

その象徴として、中央のエントランス吹き抜けに設けた内部階段と建物東面のガラス張り外付け階段が各階をシームレスに結び、様々な立場の施設利用者が階段で交わることで、施設全体で利用者の一体感を醸成することを目指しています。

また、吹き抜け部はルーバー天井や壁面の各所に設置した照明が複雑な光の反射や映り込みを生み出し、R&D らしい先進性を感じる空間としています。さらに、190 インチの大型 LED ディスプレイを設置し、情報発信やプレゼンテーションによる対話促進に活用します。



本センターは鉄骨造（S 造）の地上 3 階建てで、1 階は各研究室・試験室を配置する施設の核となるエリアです。ホース圧力試験にも対応する長さ 30m 以上のスペースを確保した大試験室や、建設機械の実機を用いて部品の実装・機能検証が可能な専用試験室も備えています。

2 階は事務室・会議室のエリアですが、大試験室に繋がる 2 階の廊下沿いには 30m 以上のギャラリーを設け、クリヤマグループの商品展示や技術紹介の場として活用します。

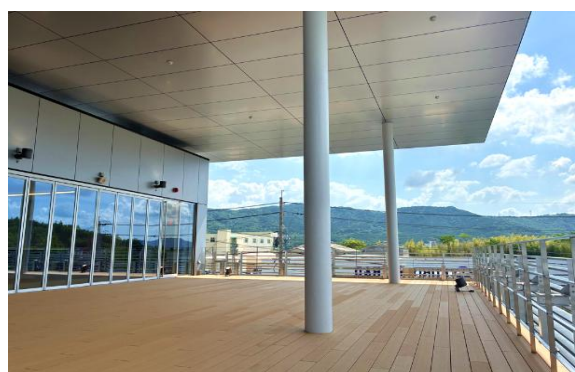
3 階には大型リフレッシュスペースを設け、前面の大庇のあるウッドデッキの屋外テラスと繋げることで内外が一体となった開放的な空間とし、施設利用者の活発な交流を促します。



1 階 研究室・試験室



2 階 ギャラリー



3 階 リフレッシュスペース・テラス



また、サステナブル対応として建築設計段階から環境配慮を徹底し、空調の高効率化による省エネ性能と太陽光発電による創エネ性能を組み合わせることで、BELS（建築物省エネ性能表示制度）の評価において一次エネルギー消費量を実質 75%以上削減する ZEB 区分「Nearly ZEB（ニアリー・ゼブ）」の評価を取得しています。

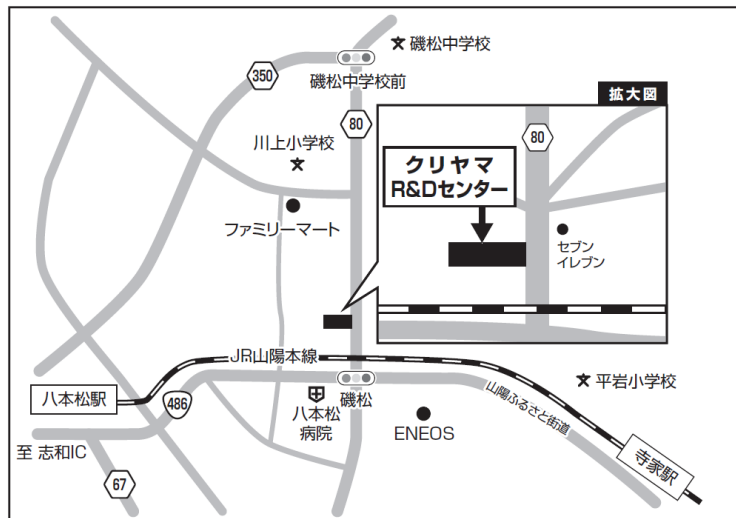
※Nearly ZEB（ニアリー・ゼブ）とは、ZEB（Net Zero Energy Building）の 4 分類のうちの一つで、設計上の省エネ対策と創エネの併用により、従来の建物で必要な一次エネルギー消費量を 75%以上削減した建物を指します。

なお、本センターの竣工に合わせて、当社グループの研究開発を担う中核事業会社「クリヤマ R&D 株式会社」は、6 月より順次、現在の三次市の拠点（広島県三次市南畑敷町 870 番地 38）から本センターへ研究設備の移設を進め、7 月 3 日（金）に正式移転して業務を本格的に開始する予定です（詳細は別途公表）。

当社は本センターを中核に研究開発体制を強化し、新製品および高付加価値製品の創出により製品競争力を高め、グローバル市場への迅速な展開を図るとともに、次世代技術者の育成と知的財産の創出・活用を一層推進し、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を目指してまいります。

■施設概要

- 名称： クリヤマ R&D センター
- 所在地： 〒739-0146 広島県東広島市八本松飯田 1 丁目 6 番 19 号



- 竣工日： 2026 年 5 月 29 日
- 敷地面積： 4,762.97 m²
- 延床面積： 3,363.79 m²
- 構造・階数： S 造、地上 3 階建て
- 投資総額： 約 30 億円

以上